

# 平成30年度 活動計画

企業の資金調達の円滑化に関する協議会

平成30年8月24日

# 目次

---

1. 平成29年度の振り返り

..... 3 - 4

2. 平成30年度の活動計画

..... 5 - 6

# 1. 平成29年度の振り返り① 活動実績

目的	活動
1. 各方面への働きかけ	<p>平成29年度は「<u>会員企業が課題を気軽に相談できる素地作り</u>」という視点を最重要視して活動</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 技術革新により新制度や枠組みが生まれており、事業会社目線での制度設計を促す働きかけが必要</li><li>● 当会を起点として事業会社財務部門間のネットワークを構築し話し合える関係になってこそ、課題や悩みが生じた際に機動的な働きかけが可能</li><li>● 活発な意見交換を通じて自然に改善・提言アイデアが生まれるのが理想</li></ul>
2. 経済・金融環境の変化を捉えた会員同士連携と環境変化への適応	<p><u>終日のワークショップの開催</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● トヨタ自動車による「財務戦略」の説明&amp;意見交換</li><li>● 三菱商事による「財務戦略とハイブリッド債活用の実践例」の説明と会員企業の意見交換</li><li>● 三菱航空機のMRJ最終組立工場（MRJミュージアム）の見学</li></ul> <p><u>Fintech、RPA、AI</u></p> <p>日立製作所による「財務部門における財務業務プロセス改革」の説明と会員企業の意見交換</p>
3. 個別の実利の追求	<p><u>グローバルキャッシュマネジメント（GCM）</u></p> <p>三菱重工業による「資金集約のスキーム及び将来の展望」の紹介と会員企業の意見交換</p> <p><u>外国為替</u></p> <p>三井物産による「多通貨決済クリアリングCLS を活用した為替取引業務効率化の取組」の説明及び会員企業における為替リスクの管理体制・実務の課題に関する意見交換</p>

# 1. 平成29年度の振り返り②

## 各種協議会活動への評価と今後への期待

- 意見交換会・セミナーのテーマや自社業務への有用度、進め方については高評価
- 当会では他社の最先端の取り組み事例を知ることができるとともに、他社とのネットワーク構築に役立つため、テーマ次第で今後も積極的に参加したいとの会員企業が多数

### 平成29年9月～平成30年7月の活動を通じて得た会員の声（抜粋）



各回完結型でなく、テーマによっては複数回で意見交換を深めたい。  
特に以下のようなテーマに興味がある：

- ・ 外貨建て社債
- ・ Fintechに対する政策面でのサポート・規制緩和
- ・ 仮想通貨
- ・ CMS高度化
- ・ AI、RPA

資金調達分野の実務上の問題解決、他社の最先端の取組事例の情報入手の場として引き続き活用したい。当会関係者は資金調達部門の実務者が多いため、今後も自部門の日常業務に特化したテーマを取り上げてほしい。



活動を通して困ったことがあった時に相談できる関係となった会社がこの1年で増え、特に名古屋でのワークショップは転機だったと感じる。

## 2. 平成30年度の活動計画

### 目的

1. 各方面への働きかけ

2. 経済・金融環境の変化を捉えた会員同士連携・環境変化への適応

### 活動

① POT方式による社債発行の論点整理を通じた社債市場の整備の働きかけ

- POTの導入本格化の動きに向けて、メリット・デメリット等論点を整理
- POT方式での起債経験のある事業会社との意見交換を実施し、社債発行条件面における市場整備という観点で日本証券業協会等へ働きかけ

② LIBORに代わる金利指標選定に係る情報収集・関係者への働きかけ

日銀の検討委員会の動向を意識し、会員企業への影響をアンケート等を用いて検証、関係者へ適宜働きかけ

③ 貸金業法規制のグループファイナンスへの更なる適用緩和に関する働きかけ

平成26年・29年改正で貸金業法規制緩和は一定程度実現したがグループファイナンスに対する全般的な適用除外を引き続き金融庁へ要望

④ 資金調達・グループファイナンス手段としての仮想通貨、Fintechの活用可能性の検討

仮想通貨を使った送金/決済サービス、ICO (Initial Coin Offering)等の新たな資金調達の適用可能性を議論し、会員各企業による財務部門の将来構想を語り合うような場づくりを実現

⑤ ESG債（グリーンボンド）発行に関する検討

GPIFによるESG投資の開始等により、環境をより強く意識したESG債などの資金調達手段が注目され発行企業も増加しているため、ESG債の発行における留意点や課題につき意見交換を実施

## 2. 平成30年度の活動計画

### 目的

### 3. 個別の実利の追求

### 活動

#### ⑥グローバルキャッシュマネジメント（GCM）の高度化

- 特に中国・タイ・インド等における資金管理の最新動向、及び、海外送金規制対象国での資金集約スキーム等について、会員間の意見交換の継続
- グローバル成長戦略の一環としてのM&A実施後の被買収企業の資金管理の効率化・高度化について、TMSの活用等を題材とした意見・情報交換の実施

#### ⑦外国為替

会員の関心の高い為替リスクの管理体制の見直しと為替取引の決済の自動化・効率化に関し、実務上の課題に関する意見・情報交換の継続